

令和3年中 火災統計 熊野市消防本部

令和3年中の熊野市消防本部管内（熊野市、御浜町、紀宝町）の火災発生件数は、17件（熊野市7件、御浜町6件、紀宝町4件）で、火災件数は前年と比べて5件増加しています。火災による負傷者は1名となっています。

内訳は、建物火災3件（熊野市2件、御浜町1件）、車両火災3件（熊野市1件、御浜町1件、紀宝町1件）、林野火災2件（熊野市2件）、その他の火災9件（熊野市2件、御浜町4件、紀宝町3件）で、出火原因は、たき火5件、たばこ1件、ストーブ1件、電気機器1件、その他5件、不明1件、調査中3件となっています。

火災による損害額は6,218千円、建物火災の焼損面積は196㎡、焼損棟数は全焼1棟、ぼや1棟です。（調査中の火災は含まず。）

建物火災については令和2年の3件から変化なく、その他の火災については5件から9件に増加しており、そのほとんどが『たき火』などの屋外焼却が原因で出火した火災です。

平成16年に義務付けられた住宅用火災警報器の管内の設置率は73%で、全国（83.1%）及び三重県（77.3%）の設置率より低くなっています。建物火災における死者の大半は逃げ遅れによることから、今後も住宅用火災警報器の設置率100%をめざして啓発活動を行うとともに、放火されない環境づくりを推進していくための広報や活動を行っていきます。

また高齢者等に対しては、熊野市消防団 女性消防団員による独居老人の家庭訪問などを通じて、火災予防について啓発を図ります。

空気が乾燥し、火災の発生しやすい時期となっておりますので、火の取扱いには十分注意してください。

参考 過去5年の火災発生件数

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
火災件数(件)	21	17	22	12	17
死者(人)	1	0	1	2	0
負傷者(人)	1	4	1	0	1
損害額(千円)	6,817	22,617	14,172	26,430	6,218 調査中含まず